

# 住環境整備と 就学援助の向上を



質問者  
寺嶋 正 議員

町営住宅7団地のうち6団地は老朽化が激しく、建替や改修をする必要がある。新たに「公営住宅等長寿命化計画」を策定することになっているが、位置付け・計画的修繕・策定フロー・計画期間・長寿命化を計るべき住宅・建替など、計画の進捗状況は。

就学援助制度は、生活保護を必要とする世帯等の児童・生徒に対し、学用品費や修学旅行費など援助する制度だ。補助の種類とクラブ活動費・生徒会費・PTA会費は、扶助の対象になっているのか。対象者にもれなく就学援助費が出されているか。



河内町営住宅

**A** 町営住宅の環境整備に取り組む  
回答 (町長)

① 長寿命化計画は、河内町営住宅の延命化を

図るための改修事業などが、地域住宅交付金の対象になる。入居者の安全と安心を確保することもに、耐用年数を超過した住宅の除去を実施していく。借地にある住宅は、入居者に移転をしていたら返還をしていく。旧家畜保健衛生所用地を購入できる見通しがたつたら、建設計画を盛り込みたい。

② 要保護世帯には教育扶助費として、学用品費・通学用品費・校外活動費・新入学児童生徒学用品費・給食費・生徒会費・PTA会費・クラブ活動費が支給されている。町では、扶助の対象とならない修学旅行費を加えている。準要保護世帯のクラブ活動費・生徒会費・PTA会費は、検討課題だ。

# 安全・安心と自立する 「まちづくり」について



質問者  
菅谷 一夫 議員

安全・安心と自立する「まちづくり」を目的とした総合計画21も最終年度となりましたので、次の点を町長にお伺い致します。

① 新松田駅南口駅前広場整備事業も、事業開始以来5年目を迎えて

おります。今後の事業内容等の執行スキームは。

② 次期総合計画の策定作業は進捗していると思われしますので、次期計画では本町の居住人口数及び年齢別階層人口の設定値は、どのよ

うに算出されるのか。

③ 第三次行政改革の実施計画等で、大変なご努力を傾注されて取り組んでおられますが、開かれた町政の推進の観点から、町民目線による事業仕分け審査会等の設置をなさるお考えはありますか。

**A** 「明日のまつだ」をつくります  
回答 (町長)

① 現状7割程の用地取得が済み、残りは次年度となる。用地確保後は、未設置の駅広や駅舎を結び「エレベーター」や歩道、道路等の整備事業を経て竣工予定である。

② 町人口は、こ



南口駅前広場予定地

の15年間で1692人の減となり、次期総合計画を策定するにあたり、統計学上の分析を行っているところである。平成30年の目標人口を概ね1万1千人と考えている。目標人口の推計については、作業中の総合計画審査会に諮りながら、「計画の根幹」をなす数値を決めていく。

③ 本町規模の町での仕分け事業は、直接影響を受ける団体・個人等が明白となり、また、ある種の非情さを導入することが困難な面もある。私自身が仕分け人として無駄のない、効率的な事業展開を推進していく。